

# イベント案内・お知らせ

## 常設展示:「祭」に想いをはせる

○東中神睦会の祭典で使用される、東中神睦神輿愛好会の神輿・高張提灯や、東中神睦囃子保存会の囃子道具などを展示しています。

開催期間:令和5年(2023年)2月7日(火)~令和5年(2023年)5月6日(土)

展示資料:神輿、子ども神輿、高張提灯、見送り幕、太鼓など

## 開館時受付 化石調査相談サービス

○お持ちの化石や鉱物を、専門の学芸員が調べるお手伝いをします(無料)。

受付日時:昭島市郷土資料室の開室日・開館時間と同じ

受付方法:電話、直接来館での受付。1日1回5点まで。

※担当学芸員不在時は調査相談の受付が出来ない場合がございます。ご来館の前にお電話でご確認いただけます。

※諸般の事情により、「ものしり化石塾 in アキシマエンス」は令和3年(2021年)度をもちまして終了となりました。

楽しみにされていた方には、誠に申し訳ございませんが、ご了承の程お願いいたします。

## お知らせ アキシマエンスにおけるマスクの着用について

令和5年(2023年)3月13日(月)から、マスク着用は個人の判断となりますが、引き続き、それぞれの立場で身近でできる感染対策へのご協力をお願いいたします。

- ・手洗い等の手指衛生、ソーシャルディスタンスの確保にご協力ください。
- ・重症化リスクの高いかた(高齢者、基礎疾患を有するかたなど)への配慮をお願いいたします。
- ・貸室等利用後の各室の消毒を徹底しております。なお、アキシマエンスは全館自動換気しています。

※アキシマエンススタッフにおいては、引き続きマスクを着用いたします。

## 郷土資料室利用案内

**開室時間** 郷土資料展示室  
郷土資料室 火~日・祝日:午前10時~午後5時  
火~金曜日:午前10時~午後8時 郷土資料展示室見学の際は、  
土・日・祝日:午前10時~午後6時 郷土資料室スタッフにお声がけください

**休室日**  
毎週月曜日(休日と重なるときは開室し、その次の平日が休室日となります)  
年末年始(12月29日~1月4日)、特別整理期間

**お問い合わせ**  
昭島市郷土資料室・郷土資料展示室  
住所:〒196-0012 昭島市つつじが丘 3-3-15  
アキシマエンス国際交流教養文化棟 1階

TEL:042-543-1523(市民図書館共通)  
FAX:042-542-8002(市民図書館共通)  
ホームページ  
[https://www.akishimaensis.jp/guide/heritage\\_list.html](https://www.akishimaensis.jp/guide/heritage_list.html)

昭島市教育委員会 生涯学習部  
アキシマエンス管理課 文化財係  
住所:上記と同じ  
TEL:042-519-5717  
FAX:042-519-7456



※KOTORIホールは令和5年(2023年)4月に「FOSTERホール」へと名称が変更になります

JR 青梅線昭島駅、中神駅より徒歩10分  
立川バス(昭21、22、23、24、26系統)「昭島市民会館」より徒歩5分  
Aバス北ルート「アキシマエンス」下車すぐ

郷土資料室だより「鯨 -いさな-」令和4年度冬号(通巻8号)  
編集・発行:昭島市郷土資料室  
〒196-0012 東京都昭島市つつじが丘 3-3-15  
TEL:042-543-1523  
FAX:042-542-8002  
令和5年3月発行



常設展示のひとつ、「祭」に想いをはせるコーナーの内容を一新して、東中神睦会の祭典で使用される祭礼道具を展示しました。  
東中神睦神輿愛好会の神輿や、東中神睦囃子保存会(神田流)の囃子道具などを展示しています。ぜひご来館ください。

目次

東中神睦会の歴史と祭り.....P.2

令和4年度開催企画展示紹介.....P.3

イベント案内・お知らせ.....P.4

過去の郷土資料室だよりは、アキシマエンスホームページでご覧いただけます→  
URL [https://www.akishimaensis.jp/heritage\\_newsletters.html](https://www.akishimaensis.jp/heritage_newsletters.html)





ひがしながみおつみかい れきし  
**東中神睦会の歴史と祭り**

**東中神睦会の歴史**

東中神睦会は、玉川町2丁目にある自治会です。太平洋戦争中の昭島周辺には、陸軍航空工廠などの軍需工場があり、工場で働く人たちのために、八清住宅をはじめとする集団住宅が建てられました。現在の玉川町2丁目にも、旧日本陸軍によって建てられた「金鷄住宅」という住宅がありました。戦後間もない昭和25年(1950年)に、金鷄住宅に住んでいた人が中心となって設立された「金鷄自治会」が、東中神睦会の原点です。現在は、玉川町2丁目にある東中神睦会館を拠点に年間を通して活発な活動がおこなわれており、中でも8月に行われる祭典は神輿・山車・万灯神輿などが町内を練り歩く一大イベントとなっています。



△平成30年(2018年)の祭典の様子

**東中神睦会の祭り**

東中神睦会の祭典は、神社の神様をまつる祭りではないという点で昭島市内の他の祭礼とは異なります。東中神睦会の祭典は、地域の絆を強く結ぶことを目的として始められ、毎年8月に行われてきました。また、年に一度開催され、昭島市内の祭りや伝統芸能が集まる「あきしま郷土芸能まつり」にも出展しています。

ひがしながみおつみはやし ほぞんかい かん だりゅう  
**東中神睦囃子保存会(神田流)**

東中神睦会の祭典が本格的に始まったのは、自治会の結成から5年後の昭和30年(1955年)でした。東中神睦会の有志によって結成された「東中神神田囃子連」は、祭典に必要なお囃子を習得するにあたり、羽村町羽中神田囃子連(現:羽村奈賀町神田囃子保存会)に師事しました。その後、平成7年には東中神神田囃子連を発展させた「東中神囃子保存会(神田流)」が発足しました。



△昭和30年(1955年)結成当時の東中神神田囃子連

(学芸員 末廣)

かいさいき かくてんじしよかい  
**令和4年度開催企画展示紹介**

**『あきしまの鉄道』**

開催期間:令和4年(2022年)7月20日(水)~10月10日(月)

日本初の鉄道が開通してから令和4年(2022年)で150年を迎えるのを記念して、昭島の鉄道史を振り返る企画展を開催しました。昭島市指定有形文化財「中村家旧蔵文書一括」からは、「鉄道延長ノ義依頼書」と「青梅鉄道線路之図甲」を展示しました。(学芸員 末廣)

た まがわ  
**『~化石が語る多摩川の海水魚!?~ ギョツ!?とするような魚たち』**

開催期間:令和4年(2022年)12月13日(水)~令和5年(2023年)1月29日(日)

多摩川流域で産出した魚の化石を紹介する企画展を開催しました。「ニシン」や「キダイ」などの化石をはじめ、国内で初めて産出した「ゴンズイ」の化石や国内2例目の「ボラ」の化石を展示しました。(学芸員 尾崎)



ひとつの母岩にニシン目とみられる多くの魚化石が含まれる  
 「ニシン目集団化石」(収蔵番号 LMA-F4-26)

**令和5年度の展示・イベント予定**

**(春季)**

常設展示の展示替えをおこない、昔のテレビや羽釜など、所蔵する民具資料を展示します。



**(夏季)**

縄文土器をテーマにした企画展示を開催します。  
 夜の郷土資料室を探検する子ども向けイベント「ナイトミュージアム」を開催します。  
 子ども向けのワークショップ「まが玉づくり教室」を開催します。



**(秋季)**

地域史に精通した講師をおまねきし、縄文時代をテーマにした「文化財講演会」を開催します。  
 市内の文化財を見学しながらめぐる、「文化財めぐり」を開催します。



**(冬季)**

親子向けの化石イベントを開催します。

皆様のご来室・ご参加を心よりお待ちしております。